日時	平成 31 年 2 月 21 日(木) 14 時 00 分から 14 時 40 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	(1) 光が丘図書館(以下「光」)管理係長、運営調整係長・係員(3) 事業統括係長、子供事業統括係長光が丘図書館長は欠席(2) 貫井図書館指定管理者(株式会社図書館流通センター)(以下「貫」)貫井図書館長、同館業務従事者(2) 本社スタッフ(2)
内容	施設管理について (光)視聴覚室の夜間学習席の開放時間延長について (貫)28年度に夜間学習席の開放を開始した当初は、中学生が遅くまで在館するのはどうかという話があったため、20時30分までの開放としていた。今回、11月に実施した利用者アンケートに開放時間の延長を求める意見が複数あったため、1月15日から閉館の音楽が流れ始める20時45分まで開放時間を延長することとした。 (光)パイクの駐車について (貫)パイクで来館される方は一定数いる。中型パイクの駐車により自転車が取り出せないことがあったため、12月に「50ccを超えるオートパイの駐車は、ご遠慮ください」と記載した注意書きを駐輪場に掲示した。 (光)図書館前の歩道への駐輪について (貫)館の向かいにある中村橋駅西自転車駐車場の利用が昨年4月から2時間まで無料となり、以前よりは減ったが、土日を中心に駐輪場が満杯の時には歩道への駐輪が散見される。1月に美術館で行われる小中学校の図工展、かきぞめ展の際は、毎年歩道への駐輪が多くなるが、今年は教育委員会の方が歩道に立ち声掛けをしていただいたため、問題なく終了した。
	職員体制について (光)12月の研修「危機管理研修「公共施設としての防災を考える」」について (貫)8月に開催した一般向け講座「災害が発生しても生き延びるために」の打合せを 講師の練馬区立防災学習センター所長と行った際、図書館スタッフ向けの話があったこと をきっかけに、館内研修をお願いすることとなった。研修では、区の防災に対する考え方、公共施設としての備え、役割などをお話いただいた。 一般事業について (光)12月開催の「貫井図書館デジタル化事業 地域の歴史を考える講座「縄文文化ユートピア論を考える」」について (貫)本講座はシリーズで開催しており、今回講師にお招きした方は、石神井公園ふる さと文化館の前館長で武蔵大学非常勤講師の方である。28年度は「練馬区の先史時代」、 29年度は「東日本の弥生文化~練馬区を中心として~」の講師をしていただいた。考古学

を専門とされ、貫井二丁目遺跡の発掘にも携わられた方で、豊富な写真やデータをもとに 縄文時代の暮らしの様子を説明していただき、好評だった。

- (光)12月実施の「めでたい!本の福袋で本を借りよう」について
 - (貫)毎年1月に実施しているが、今年度はシステム更新に伴う休館の関係で 12 月に 実施した。毎年、2日目には9割が貸し出される大変好評な事業であり、一般向けの 30 袋は、初日に全て貸出しされた。
- (光) 12 月実施の「Old meets New 東京 150 年関連企画「練馬の近現代史 150 年史」」について
 - (貫) 平成 30 年が東京府開設から 150 年であることを記念した「Old meets New 東京 150 年」に関連し、急遽企画した事業である。第一部は日本史家の方を講師にお招きし、練馬の近現代史の解説していただいた。第二部は参加者にお持ちいただいた古い写真を見ながら昭和 30 年代頃の貫井地域の様子について語り合い、大変活発な座談会となった。

児童・青少年サービス事業について

(光)ブックスタート実施時の布の絵本の取り扱いについて

布の絵本を乳児が舐めて色落ちした事例があった。ブックスタートの会の方と情報共有 し、注意喚起をしていただきたい。

(貫)承知した。

- (光)12月実施の「貫井中英語部 英語おたのしみ会!」について
 - (貫)指定管理1年目の24年度に、初任者研修でいらした貫井中学校の英語の先生が「よみきかせ」を見学され、先生から英語部として何か参加できないかとお話をいただいたことをきっかけに開始した事業である。英語部の主な活動の1つとして、学校でも対外的な取組として評価をしていただいているようでありがたく思っている。参加者も毎年多く、好評な事業である。
- (光)学校支援モデル事業の「本の探検ラリー」の実施状況について
 - (貫)小学校4校のうち3校で実施した。第2土曜日に実施を希望される学校が多く、日にちの調整に苦慮している。
 - (光)中学校についても実施していただければと思う。
 - (貫)承知した。

その他

(光)練馬区立美術館再整備基本構想策定検討委員会の専門部会について

(貫)2月13日に第1回目が開催された。文化生涯学習課長、練馬区立美術館長および学芸員、石神井公園ふるさと文化館館長、西部地域まちづくり課長、株式会社丹青研究所の方2名と貫井図書館長が出席し、主に美術館の目指す方向性について話し合われた。図書館に関する部分では、「練馬区歴史資料デジタルアーカイブ」を図書館が作成した関係で質問をいただいた。